

→「福岡市文化財保存活用地域計画」を作成しています



元寇防塁生の松原地区と博多湾

福岡市は、2000年以上にわたる多様な文化交流を通じて、都市として発展を続けてきました。これを裏付けるのが、鴻臚館跡や博多部にのこる寺社仏閣、博多を発祥とする様々な文化です。

古来から、多様な交流の拠点として成長を続けてきた都市としての活力は、スタートアップの支援やクリエイティブ産業の振興等に形を変えながら、現在も成長を続けている本市のまちづくりに脈々と受け継がれています。



博多遺跡群出土 輸入陶磁器

歴史文化や文化財は、福岡に生きる人々が大切に守り伝えてきた大切な財産であり、福岡市の未来を考える上で重要です。「文化財保存活用地域計画」とは、これらどのように保存・活用していくのか、具体的な取組を記載する法定（※）のアクションプランです。

来年度(令和4年)に国の認定を受け、その後5か年で計画を推進していきます。

※平成30年度の文化財保護法の改正により、市町村が作成する計画として法定されました。

→ 1月のイベント情報

【開催予定の無形民俗文化財】

2日 市指定 ^{かねのくま とび} 金隈の鷹の水
(博多区金の隈 1 宝満宮ほか)

※感染状況により、予定が変更される場合があります。

7日 市指定 ^{いまじゆくうえまおちてんまんぐう} 今宿上町天満宮鬼すべ行事
(西区今宿3)

14日 市指定 ^{いしがま} 石釜のトビド
(早良区石釜)

15日 県指定 ^{しかうみじんじやほしやさい} 志賀海神社歩射祭
(東区志賀島 志賀海神社)



的廻り
(志賀海神社歩射祭)

【開催予定のその他のイベント】

22日 埋蔵文化財センター考古学講座 第8回
「X線を用いた分析からわかる
アイヌ民族資料の素材と技術」
講師：大江 克己氏（国立アイヌ民族博物館）

※ 予約が必要です！

詳細は下記ホームページをご確認ください。

福岡市埋蔵文化財センター ホームページ

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/html/>



福岡市経済観光文化局文化財活用部

住所：福岡市中央区天神 1-8-1
TEL：092-711-4666 FAX：092-733-5537

文化財の保存・管理・活用に関すること	文化財活用課	TEL:092-711-4666
史跡の整備・活用に関すること	史跡整備活用課	TEL:092-711-4784
埋蔵文化財の発掘調査・手続きに関すること	埋蔵文化財課	TEL:092-711-4667
埋蔵文化財の収蔵・保管・分析に関すること	埋蔵文化財センター	TEL:092-571-2921

ホームページ 福岡市の文化財

<https://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/>

Facebook「福岡市の文化財」でも情報発信中！



Vol.36 2021年12月号

コロナ禍の無形民俗文化財

歩みを止めず、少しずつでも前へ



しし 姪浜の獅子まわし(市登録)
マスクを着用しながら実施されました



新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの日常生活に様々な変化をもたらしました。人々により長年守り伝えられてきた行事や芸能などの無形民俗文化財も例外ではありません。昨年度、市内で開催予定だった指定文化財32件の行事のうち23件が中止となりました。今年も中止となった行事もありますが、参加者を減らしたり、人との距離をとるなどの感染対策をとって行われた行事もあります。たとえば、災いを祓う獅子頭を被って町内を廻る姪浜の獅子まわし(上記写真は、例年は多くの子どもたちが参加しますが、今年は大人だけで行われました。普段よりも静かな行事となりましたが、祓い獅子の一行が近づくとき家から出てくる地域の方もいました。無形民俗文化財は地域の中で生まれ、変化しながら継承されてきました。これからも地域の方々からのあたたかいまなざしと関わりが何よりも伝承活動の支えになります。

※2022年1月に開催予定の無形民俗文化財を、イベントスケジュールに掲載しています。

→ 福岡市民俗芸能公演 開催決定！

日時：令和4年3月5日(土)
会場：サイエンスホール（福岡市科学館6F）



出演予定の民俗芸能

上左：今津人形芝居（西区・県指定）
上右：田島神楽（城南区・市指定）
左：博多仁和加（中央区・市指定）



無形民俗文化財の一分野である民俗芸能は、私たちの暮らしの中で演じられ、生活を彩ってきました。普段はそれぞれの地域で演じられ、大切に伝えられてきた市内の3つの民俗芸能が、中央区六本松のサイエンスホールに一堂に会します。

新型コロナウイルスの影響が長期化するなかで、出演者にとっては、^{でんじょう}伝承活動で磨いてきた技を披露する貴重な機会になります。本公演を通じて、福岡市の文化の多様性と魅力を、改めて感じていただければと思います。

公演の詳細や観覧申し込みの方法は、市政だより（2月1日号）、福岡市の文化財ホームページ、SNS等で、追ってお知らせいたします。多くの方のご来場を心よりお待ちしております。

→ よみがえる祈念櫓の石垣 ～石工職人たちの“知”と汗の結晶～

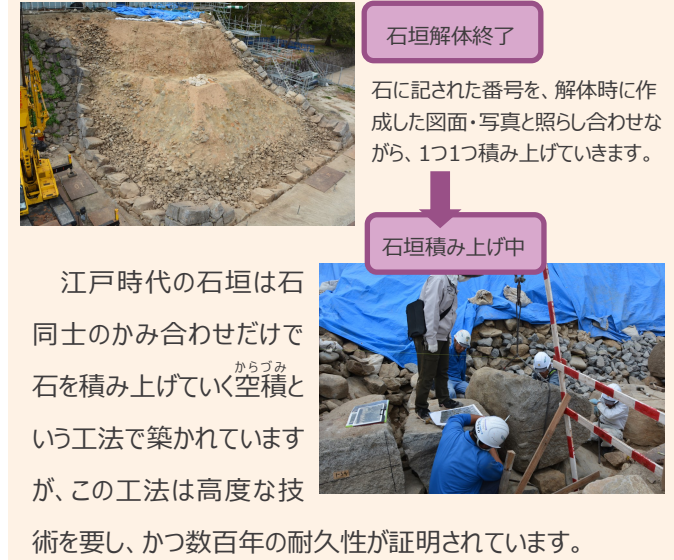


写真：修復工事前の祈念櫓と石垣

かつて、福岡城の本丸の北東角には鬼門（※）を封じるための祈念櫓が建っていました。この櫓が建っていた石垣には、時を経て凸凹やずれ等が生じていたため、令和元年度から3か年の計画で石垣の修復工事を行ってきました。

石垣は、元通りに積み直すために、すべての石に番号を付け、^{下写真}図面や写真などの記録を作成しながら取り外していきます。その記録を基に、本来の石垣の形状を想定しながら石を積み直していきます。

※鬼門とは、古来、災いをもたらす鬼の通り道として、忌み嫌われてきた北東の方角をさします。



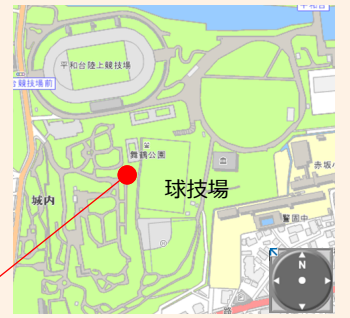
石垣解体終了
石に記された番号を、解体時に作成した図面・写真と照らし合わせながら、1つ1つ積み上げていきます。

石垣積み上げ中
江戸時代の石垣は石同士のかみ合わせだけで石を積み上げていく空積という工法で築かれていますが、この工法は高度な技術を要し、かつ数百年の耐久性が証明されています。



積み上げ終了

江戸時代に築かれた石垣が、令和の時代に同じ技術で生まれ変わりました。皆さんの目ぜひ確かめてください！



祈念櫓石垣の場所はこちら
本丸北東側にある球技場の周辺から、見学することができます。